【学会発表方法について】

1．口演発表

（1）発表時間は1演題8分。その後，その後質疑応答を1演題ごとに行う（質疑応答4分)。
看護協会のパソコン・プロジェクターを使用し，パワーポイントでの発表とする。

（2）プレゼンテーション（パワーポイント）作成にあたっての留意事項。
①プレゼンテーションとは，パワーポイントの文字を読むものではない。
②文字は明朝体よりゴシック体の方が鮮明に写りやすい。
③1枚の文字の量は，1行が14～15文字，8～9行が見やすい。
下端は10mmの余白をもつ。
スクリーンより5～6m離れてもスライドが見えることが必要。
コントラストがはっきりした方が見やすい。
④<u>動画やアニメーション，音声の使用は不可。</u>
⑤プロジェクターとパソコン（OS-Windows 10，パワーポイント-最新版）は看護協会で準備する。作成された発表原稿は，期日までに，Eメールで gakkai@y-kango.or.jp 宛に送付する。なお，原則として，提出されたものは変更できない。

2．示説発表　（感染症の拡大状況により、すべての発表が口演発表となることがあります。）

（1）発表時間は1演題5分。1題発表毎に3分間の質疑応答を行う。

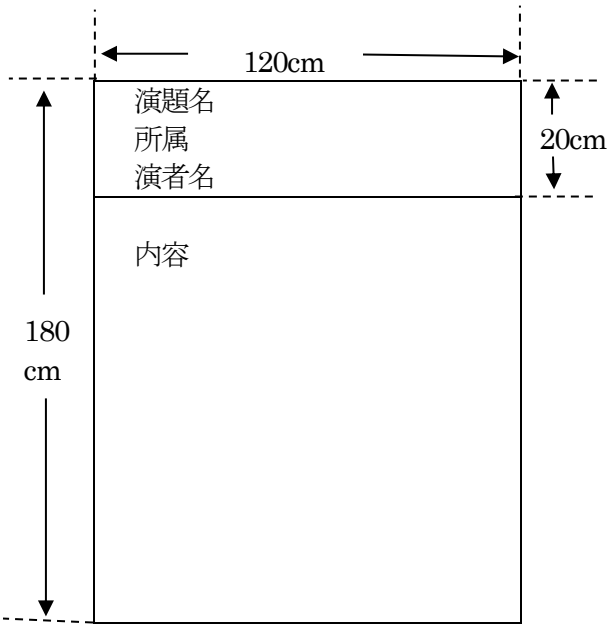
（2）ポスター等，事前の提出は必要ない。
学会当日に各自作成したポスターを持参する。

（3）スライド・パソコン・プロジェクター・OHPは使用できない。

（4）1題ごと，縦180cm×横120cmのパネル1枚を使用する。

（5）パネル内に，発表内容を収める。

（6）レイアウトは自由。但し，イラスト，図表，文字配列を含め2～3m離れても見えるように 表示を工夫する。



【示説パネルの掲示】

（7）表題，所属，演者名は各自で準備する。

（8）ポスターの内容に人物の写真等を配置する場合は，研究内容を伝えるのにどうしても必要な場合のみとする。 やむを得ず人物の写真を用いる場合には，必ず対象者の承諾を得る。その場合も個人が特定可能な顔や身体部分の露出を避けるなど，個人情報の保護に努める。